

AVANT

AVANT 決算・経営説明会

株式会社アバント
(証券コード3836 東証1部)

2020年 2月27日

I. 2020年6月期 第2四半期決算概要

II. 2020年6月期 業績予想及び配当予想

III. 中期経営計画の進捗アップデート

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行わないようお願いいたします。

I. 2020年6月期 第2四半期決算概要

～ 増収・増益を維持 ～

- 各セグメントで高水準の業績を計上した前年同期実績と比較しても増収・増益を維持し、通期業績予想に対して順調な進捗
- 通期業績予想は据え置き、下半期の受注販売動向を注視

(単位：百万円)

	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	6,933	7,734	+ 801	+ 11.6%
売上原価	3,701	4,355	+ 653	+ 17.7%
販管費	2,216	2,290	+ 73	+ 3.3%
営業利益	1,015	1,089	+ 73	+ 7.3%
営業利益率	14.6%	14.1%	-	△ 0.6 point
経常利益	1,014	1,093	+ 79	+ 7.9%
四半期純利益	641	673	+ 32	+ 5.0%
EBITDA	1,091	1,178	+ 87	+ 8.0%

～ 前年同期の高水準な実績をとらえ増収増益 ～

- 新契約の獲得に加え、既存の大型案件で追加の売上が計上される等により、高水準であった前年同期に対しても増収を達成
- 人員増、オフィス新設・改修に伴う費用増も、プロジェクト品質管理を徹底し、利益率の改善を伴い増益。受注残も前年並みまで改善

(単位：百万円)

	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	4,008	4,165	+ 156	+ 3.9%
営業利益	607	709	+ 102	+ 16.9%
営業利益率	15.1%	17.0%	-	+1.9point
受注高	3,501	3,901	+ 399	+ 11.4%
受注残高	1,927	1,910	△ 17	△ 0.9%

～ 旺盛な投資需要に支えられ二桁成長続く ～

- 専門性の高さが認められ、難度の高いプロジェクトも受注、二桁増収続く
- プライム案件比率上昇も続き二桁増益も、報酬水準の引き上げと新オフィス開設に伴う費用増のため利益率は若干低下

(単位：百万円)

	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,430	2,870	+ 440	+ 18.1%
営業利益	313	352	+ 38	+ 12.5%
営業利益率	12.9%	12.3%	-	△0.6point
受注高	2,459	2,912	+ 452	+ 18.4%
受注残高	958	1,245	+ 286	+ 29.9%

～ 高水準の増収で費用増を回収 ～

- ガバナンス強化、働き方改革の流れを受け、連結決算アウトソーシングに加え資金管理ソリューション等その他の売上も増収を牽引
- オフィス増床による固定的費用の増加で営業利益率は悪化したが、四半期単独では増収による改善効果も

(単位：百万円)

	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	783	993	+ 210	+ 26.9%
営業利益	202	234	+ 32	+ 16.1%
営業利益率	25.8%	23.6%	-	△2.2point
受注高	758	1,068	+ 309	+ 40.8%
受注残高	650	928	+ 277	+ 42.6%

Ⅱ.2020年6月期業績予想及び配当予想

2020年6月期の業績予想

AVANT

～売上・利益共に高成長続く～

- 連結会計関連事業では大型案件が収束するため二桁増収は見込めないが、ビジネス・インテリジェンス事業及び・アウトソーシング事業は順調に推移し、全体でも二桁台の増収は確保できる見通し
- 各事業で成長投資は見込むものの、営業利益率は前期と同水準を維持



上期進捗率：50.0%



上期進捗率：50.3%



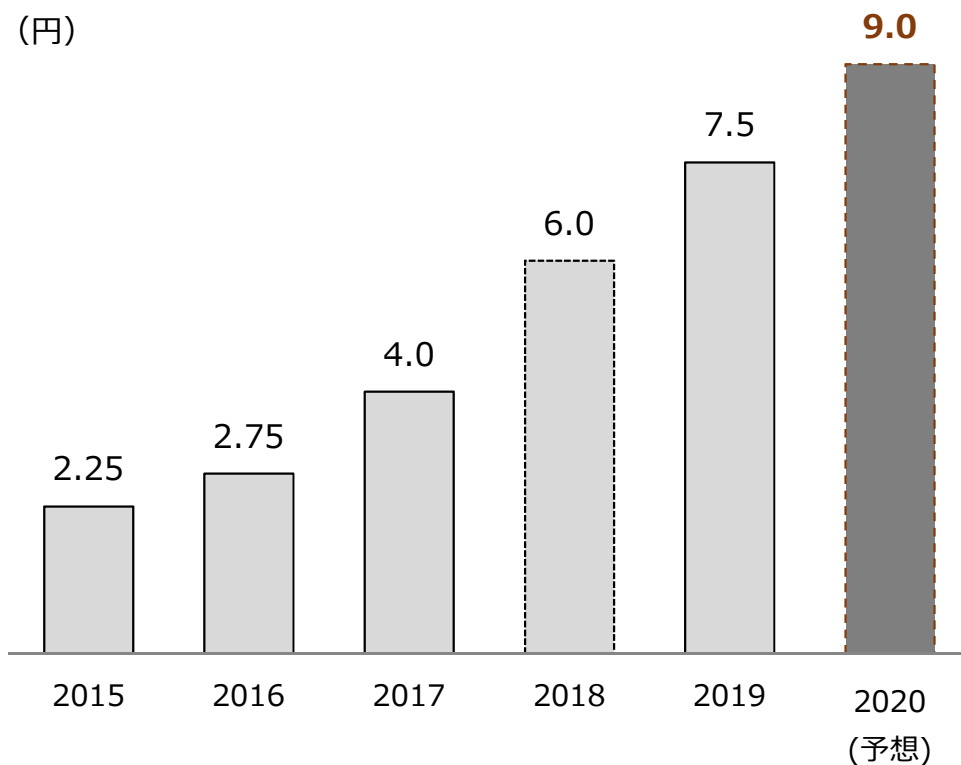
上期進捗率：49.7%



～ 2020年6月期配当予想は、1株当たり9円 ～

- 2020年6月期は、安定的な配当を継続して行う方針に沿い、増配予想に変更なし
- 12月1日実施予定の株式分割を考慮し1株配当額を修正

(円)



(株式分割調整後)

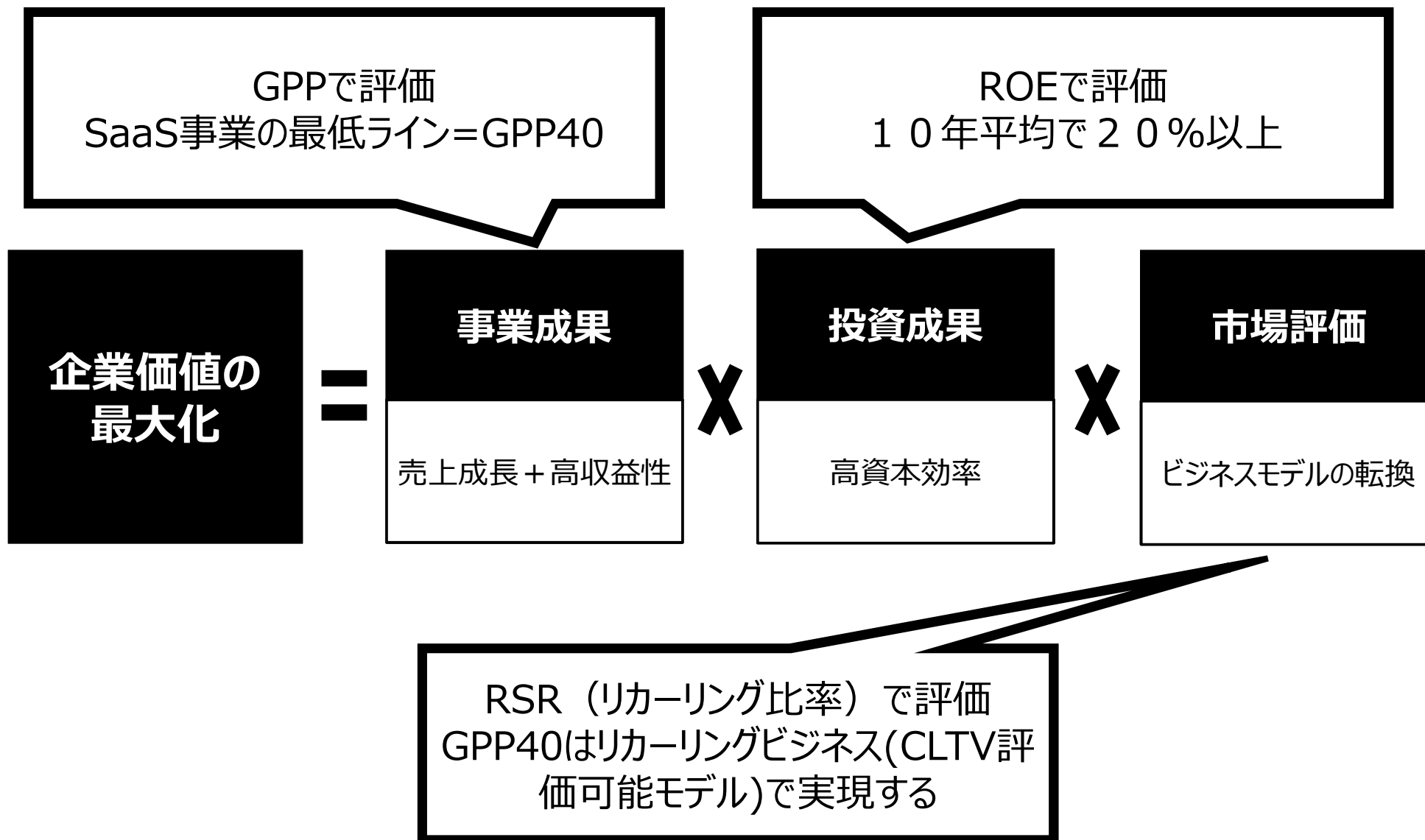
<AVANT株主還元の考え方>

- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率はその値を徐々に引き上げ、東証全上場企業の平均値を常時上回ることを目指す

Ⅲ. 中期経営計画の進捗アップデート

中期経営計画で目指すもの

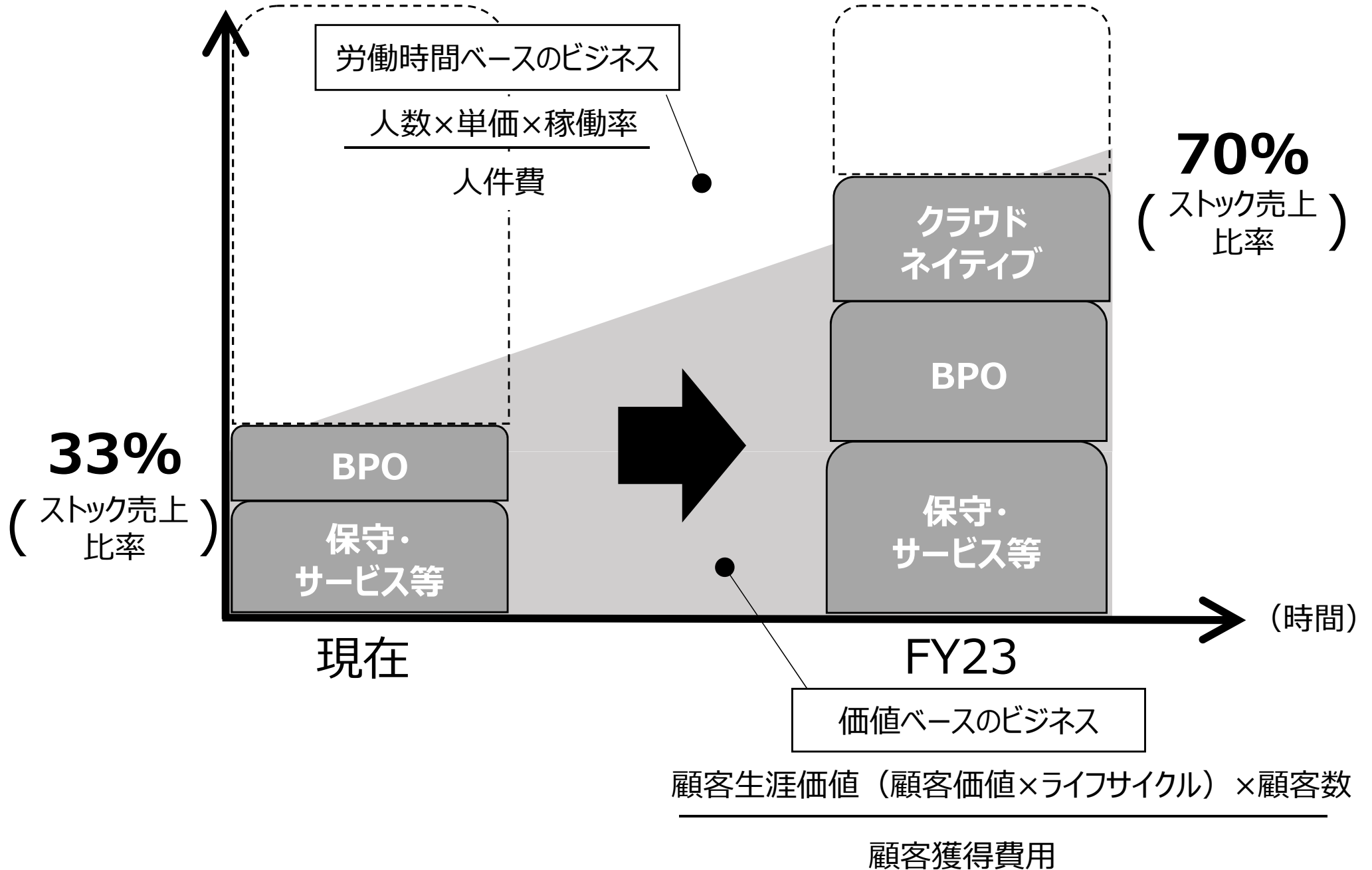
AVANT



CLTV: Customer Life Time Value

ビジネスモデルの転換

AVANT



ストック売上比率の変化

AVANT

	FY19		FY20上半期
連結会計関連	38%	➔	39%
ビジネス・インテリジェンス	7%	➔	8%
アウトソーシング	94%	➔	88%
AVANTグループ	32%	➔	32%

連結会計関連

- 大型プロジェクトが収束する一方で新規契約は順調に拡大
- 管理会計システム（SMD）を中心に、クラウド製品・サービスの幅拡大

ビジネス・インテリジェンス

- デジタル・トランスフォーメーションに向けた投資意欲は強く、ジールはこの分野の専門として認められ、難度の高い案件も手掛け、高成長続く
- プライム案件比率は6割強に上昇
- ZEUSCLOUD正式リリース、強い引き合いを確認

アウトソーシング

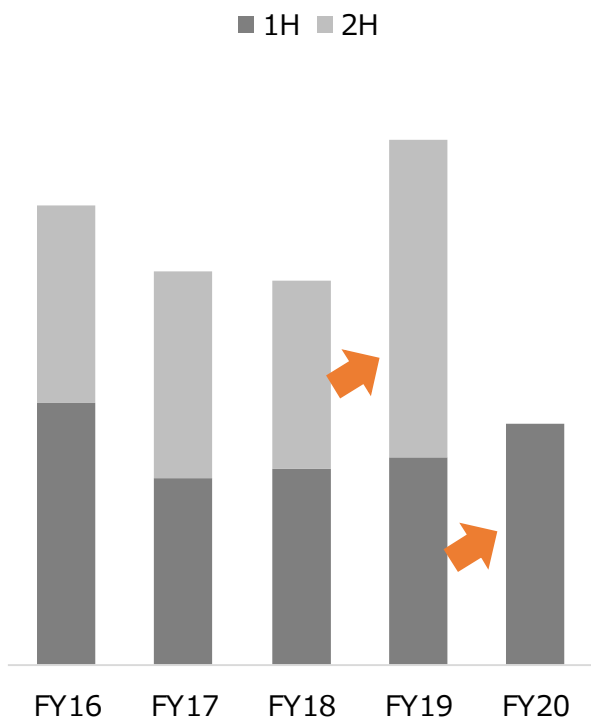
- 決算アウトソーシング、資金管理ソリューション（TMS）共に順調に新規契約を獲得、既存顧客のアウトソース範囲拡大もあり高水準の増収を維持
- 順調にパイプラインのハード化が進捗

クラウドネイティブ

- 持株会社によるクラウドネイティブ製品を手掛ける企業との提携・買収を検討

連結会計関連

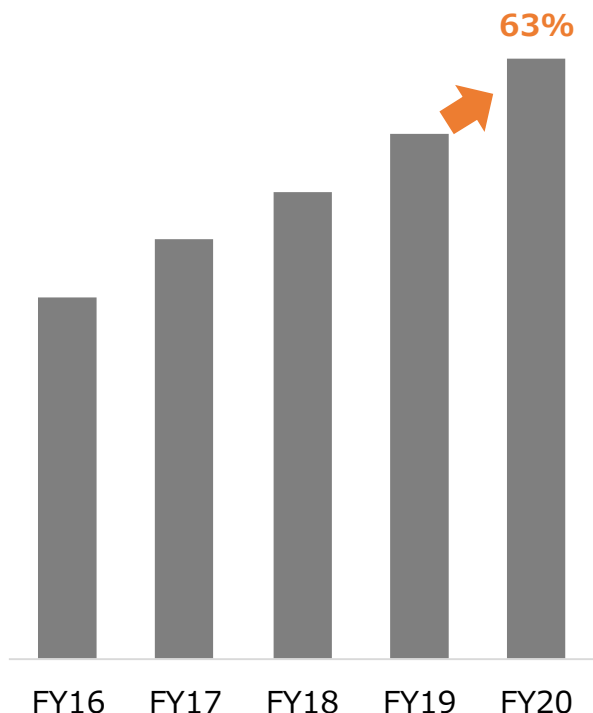
LCA新規契約件数の推移



大型案件にリソースを集中してきたが、大型案件が収束に向かうに従い新規案件獲得ペースは加速へ

ビジネス・インテリジェンス

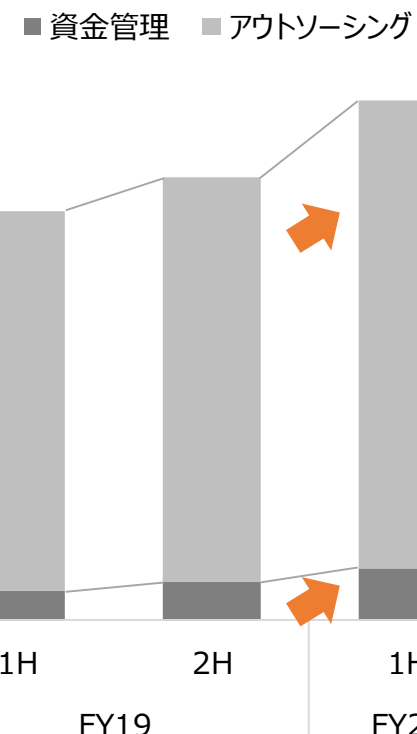
プライム案件比率の推移



ビジネス・インテリジェンスに特化してきた実績が評価され、ソフトウェアベンダーの紹介も含め、プライム案件比率は着実に上昇

アウトソーシング

部門別売上推移



DivaSystemをベースとする決算アウトソーシングから非DivaSystemの決算、キャッシュマネジメント等、提供ソリューションは多様化

連結会計関連

- DivaSystemのクラウド化検討
- Compass・Planning等SaaS製品の完成度高め、SMD等と併せトータルソリューションとして提供

ビジネス・インテリジェンス

- ZEUSCLOUDの販売拡大に向け努力
- 製造業向けに需要予測・生産・販売を一貫管理するテンプレート開発・販売
- 最先端ベンダーの技術をベースとするDx開発案件推進

アウトソーシング

- 決算アウトソーシング、資金管理ソリューションにおける新規顧客拡大努力継続
- ソリューション多様化に向けパートナーと継続協議
- 決算アウトソーシングのRPA実装に向けパイロット案件推進

クラウドネイティブ

- クラウドネイティブ事業拡大に向け、グループ会社で製品・顧客を抱える企業と提携・買収を検討

AVANT Groupの中期目標

	FY18		FY23
売上高	120億円	➔	180～220億円
ストック売上比率	33%	➔	70%
営業利益	16億円	➔	31～38億円
売上成長率 + 営業利益率	28.5pt	➔	40pt以上
ROE	24.5%	➔	20%以上
配当	6円	➔	15円以上

AVANT